

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 4月 15日

事業所名 多機能型事業所 きらめき読谷

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	6	室外に大きな物置を設置してもらい、室内を広く使えるように工夫しています。	午後に放デイの児童が帰ってくると活動スペースが狭くなるので、室内活動を分け、児童が過ごしやすい環境を工夫します。
	2	職員の配置数は適切である	4	5	見守りが手薄になるときは、活動内容など変更して対応しています。	学校送迎にスタッフが出ている時と、放デイが帰って来てからの人手が足りない時間帯での職員の増員を検討していきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9		一つのホールになっているので着替えや午睡時などはカーテンやつい立を利用してしています。	児童に関わる全ての物品が同じ空間にある為、児童が多い日などは、雑然とした状況になっているので、収納スペースを工夫し、バリアフリー化に努めています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9		ホールには、出来るだけ物を置かない様にしこまめに環境整備を行っています。	児童の活動に合わせた空間は不十分なので、日頃からこまめに整理整頓を実践し環境整備を行います。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9		職員が多く参加できるように曜日や時間を設定して会議を持つようにしています。	事業所会議を設け全体で取り組んでいます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9			意見箱を設置し、保護者からの意見を伺い、迅速に対応を心掛けていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9			今後、改善を行い4月に公開予定。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		9		第三者は設置していない。まずは、保護者からのご意見権を参考に改善を図っていきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	1	DVD研修動画を曜日を決めてスタッフが受講できるようにしています。	コロナ禍で外部講師を招く事ができなかったため次年度は招くことを検討。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9		普段から保護者との情報交換を心掛けて必要な支援が行えるようにしています。	モニタリング内容をまとめ職員で共有し、支援会議にてチームで計画を作成
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	3		標準化されたツールがあるのか分からないとの声があり、職員間での情報共有に不足があるため、支援会議を通して活用を図る
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	1		関係機関と連携し、情報を共有しています。また、利用児だけでなく、保護者のニーズにも応えていけるよう協力体制を強化しています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	1	活動内容に個別活動も盛り込んでいます。	今後も、支援会議を行い、情報を共有した上で、個別支援計画書を作成し実践しています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	9		事業所会議で意見を出し合って決めています。	支援会議にて職員全員で作成をします。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9			マンネリ化している部分もあるので、児童が飽きないように活動に変化を持たせる工夫を考えていきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	9			個別活動(知的・身体)で対応できない場合はグループで活動。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9		朝の朝礼時に一日の活動内容の確認、情報共有を行っています。	全員の時間確保が難しい場合は、事前に役割を決めて分担しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	3	緊急の申し送りは送迎先から現場に連絡を入れています。	送迎時間がバラバラなので終礼はできないが必要な時その場で話し合うように時間の使い方を工夫します。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	1	日報、看護師記録、リハ記録を毎日残して情報共有しています。	日報に個別の支援記録を記載。その際、できたこと、できなかったことを記載することで、振り返りが可能な状態にしています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	1		上記の日報を基に、達成状況を確認しています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9			相談員や専門性の高いスタッフが参加しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8	1		まだ少ないが必要な時は、相談員を通して連携を取っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	8	1	地域の幼稚園と業務提携を行い連携して支援を行っています。	不十分なので、今後、ネットワークを広げ連携していきたいと思えます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	8	1	緊急連絡一覧表を作成して必要事項が直ぐに分かるようにしています	まだ少ないが必要に応じて、相談員を通して連携をとっていきます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	1		行政、学校との連携がまだ不十分なので体勢を整えていきたい。また、一貫した支援を目指すため会議等への参加、支援計画書を情報共有します。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9		関係機関との情報共有、連携を取っています。	学校等と連携し、一貫した支援を目指すため会議等への参加、支援計画書を情報共有しています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	4		次年度は外部から講師を招いて勉強会をおこなう予定です。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	8		今後交流が持てるように計画を模索していきたいと考えています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している		9	村内の児発普連絡網を利用して情報共有しています。	子ども部会の設立に出来るだけ関わっていけるように今後積極的に関わっていきたいと考えています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9		連絡帳や送迎時に保護者との情報交換を大事にしています。	積極的に保護者との良い関係づくりに努めています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7	2	可能な範囲で必要なアドバイスや支援を行えるようにしています。	スタッフがペアレントトレーニング等の受講を受け更に良い支援が行えるように努めています。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9		契約時に一緒に読み合わせし疑問があればその場で答えられるようにしています。	保護者の理解を確認していきながらより丁寧な説明を心がけていく必要があると考えています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9		支援計画書の更新時には保護者に確認してもらい印を貰っています。	直接手渡しで説明する事が殆どないため可能な限り説明しながら確認できるように努めています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9			スタッフのスキルアップの為にペアレントトレーニング等必要な研修を受けていきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		9		少人数からでも保護者会の開催が実現できるように体勢を整えていきたいと考えています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9		保護者からの相談や問い合わせには出来るだけ迅速な対応を心がけています。	保護者に寄り添った支援ができるように、可能な限り必要な体制作りを努めています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	2	毎月、食事献立や活動内容のお知らせを配布しています。ホームページにも定期的な活動の様子を発信しています。	行事やホームページの更新時には保護者へのアピールを周知できるように工夫していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9		重要な書類は、鍵付きのキャビネットに保管しています。	個人情報に関わる重要書類は、紛失などが無いようきちんと整理整頓しチェックして管理できるようにしていきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9		iPadを使用した活動や大型TVを利用して活動の様子が送迎時に保護者にも見られるようにしています。	一部の児童や保護者への利用になっているので全体に使えるよう工夫していきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	8		まだ行ったことがないので、今後地域の方との交流が出来るような企画を取り入れていきたいと思っています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9		マニュアル作成して事業所内で定期的な訓練を行なうようにしています。	訓練の様子や情報をホームページやLINEなどのツールを使って、保護者にも周知してもらえるように工夫していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9		年2回事業所内訓練と他事業所との合同訓練を行なっています。	訓練の様子や情報をホームページやLINEなどのツールを使って、保護者にも周知してもらえるように工夫していきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9		定期薬以外に臨時の薬がある場合は、その都度保護者と確認しています。	内服処方箋のコピーを頂いているが忘れる事も多いので今後周知してできるようにしていきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	2		保護者からの伝達のみで受けているので、今後担当医の指示書の提示をお願いしていきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9		ヒヤリハット、事故などの報告書はすぐに報告提出して事業所内で共有しています。	毎月の事業所会議でも振り返りなどを行ない意識できるように努めていきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9		年間の研修計画に虐待に関する研修を取り入れてスタッフ全員が受講できるようにしています。	受講回数を増やしたり、内容を見直してマンネリにならない様工夫した研修を行っていきます。
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	3		現在拘束に当たる事例はありませんが、やむを得ない場合は保護者への了解をきちんと確認していきます。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。